「令和7年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

令和7年6月16日（月）13:30～15:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構14階会議室21～22

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

竹腰 沙織（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

(1) 委員長の選出及び委員長代理の指名

(2) 審議事項案件

① 令和7年6月から8月かけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について

② 令和7年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

③ 令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について

④ 令和7年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

(3) その他

V 議事内容

- (1) 委員長の選出及び委員長代理の指名について、以下の通り行われた。

委員長として委員の互選により池田委員が選出され、委員長代理として池田委員長より鳥山委員の指名が行われた。

- (2) ① 令和7年6月から8月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

- ② 令和7年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none">これまでの事業のコンサルティングを請け負ってきた業者が有利となり、情報格差が出やすいことから、公告期間を十分に設けるなど、公平性を維持したものにしたい。前回は企画競争によるものであったが、企画競争は競争制限的なものになりやすいので、前回の問題点も踏まえて効果検証を行い、広告効果のある良い選定をして欲しい。	<ul style="list-style-type: none">応札者には、現行契約における最終報告書等の関連資料閲覧を必須とし、内容を把握できるようにする。併せて十分な公告期間を設け、競争性、公平性を確保できるようにする。これまでも受託業者からの事業報告書、認知度調査結果により広告効果の検証・妥当性の評価を行っており、今回も広告効果の低い媒体は精査して仕様を見直したところである。引き続き、広告効果のある優れた選定ができるよう検討していく。

- ③ 令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について

- ④ 令和7年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

- (3) その他について

令和7年6月以降の調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上